

センターだより

第4号

令和元(2019)年9月4日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@city.suita.osaka.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

全国学力・学習状況調査の調査結果公開

先日、『平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査』の調査結果が公開されました。今年度は、新学習指導要領の改訂を踏まえ、従来のA問題とB問題という区分をなくし、知識・活用を一体的に問う調査問題へ変更されました。また、中学校において英語の調査が初めて実施され、特に「話すこと」調査では口述式の調査が実施されるなど、これまでの全国学力・学習状況調査とは異なる調査となりました。

現在、吹田市教育委員会では、吹田市の調査結果の分析を実施しており、9月中には各校へ周知できるよう準備を進めております。今回は、吹田市の分析結果に先立ちまして、大阪府教育センターにて公開されている大阪府の結果概況について御紹介いたします。

【大阪府の結果概要】

○小学校国語

目的に応じて、本や文章全体を目次や索引を活用して効果的に読むことについて、相当数の児童ができています。一方、「言葉等の知識や理解」には課題が見られ、特に同音異義語に注意して、漢字を文の中で使うことについて、できていない児童が多い。

○小学校算数

台形の特徴の理解は、相当数の児童ができています。一方、「量と測定」領域には課題が見られ、特に示された図形の面積を求める式の意味を理解し、その表している内容を記述することについて、できていない児童が多い。

○中学校国語

記述式の問題において、特に自分が感じたこと、考えたことを記述することについて、相当数の生徒ができていますが、話題や方向性を捉えて、自分の考えをもつことに課題が見られる。また、「言葉等の知識や理解」にも課題が見られる。

○中学校数学

平行移動の意味の理解は、相当数の生徒ができています。一方、「関数」領域に課題が見られ、特に日常的な事柄の解決方法を数学的に考え、説明することについては、できていない生徒が多い。また、「資料の活用」領域にも課題が見られ、特に統計資料の傾向を的確にとらえ、数学的な表現を用いて説明することについて、できていない生徒が多い。

○中学校英語

小学校での外国語活動でも慣れ親しんだ教室英語や日常的な話題に関する簡単な英語を聞き、情報を正確に理解することについて、相当数の生徒ができています。一方、「読むこと」領域に課題が見られ、特に一定量の英語の文章を読んで、書き手が伝えたいことを理解することについて、できていない生徒が多い。

学力調査結果

平均正答率 (%)

小学校

	大阪府	全国	差
国語	60.3	63.8	-3.5
算数	66.4	66.6	-0.2

中学校

	大阪府	全国	差
国語	70.0	72.8	-2.8
数学	58.3	59.8	-1.5
英語	56.1	56.0	0.1

無解答率 (%)

小学校

	大阪府	全国	差
国語	7.0	6.2	0.8
算数	2.8	2.7	0.1

中学校

	大阪府	全国	差
国語	3.3	2.6	0.7
数学	8.7	7.3	1.4
英語	6.6	6.0	0.6

9・10月の教職員研修予定

講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象	
ステップアップ 研修Ⅱ(3～5年次)(選択A)	102	「やまばと学級に学ぶ」(吹田市支援学級センター校「肢体不自由児学級」) 授業者 高野台小学校 やまばと学級担当教員	高野台小学校	10月24日(木) 14:10～17:00	ステップアップ研修Ⅱ受講者	
	104	「光の森に学ぶ」(適応指導教室) 講師 不登校児童・生徒支援員 築谷 康夫 他	吹田市自然体験交流センター	10月29日(火) 13:45～17:00		
ヤングリーダー研修	125	不登校対応について(仮) 講師 大阪教育大学 教授 水野 治久	教育センター 視聴覚室	10月25日(金) 15:30～17:00	ヤングリーダー研修 ※教育課題別研修 合同実施	
10年経験者研修	134	中学校代表研究授業 授業者 西山田中学校 教諭 河野 雄志 指導助言 古江台中学校 校長 森田 直樹	西山田中学校	10月17日(木) 14:30～17:00	中学校 10年経験者研修受講者	
教育課題別研修 (10年経験者研修における 吹田市選択研修)	177	いじめ問題の理解と対応の実際 講師 関西外国語大学 教授 新井 肇	古江台小学校	10月3日(木) 15:30～17:00	教職員 ※生徒指導主事会・主担者会 合同実施	
	175	職場でのコミュニケーションについて 講師 大阪メンタルヘルス総合センター 臨床心理士 高橋 美智子	教育センター 第1会議室	10月28日(月) 15:30～17:00	教職員	
教科領域別 研修	英語教育 研修	225	「小学校外国語活動の実践について」 講師 千里丘北小学校 指導教諭 佐野 彩子 千里第二小学校 教諭 久門 淳子	教育センター 研修室1	9月12日(木) 15:45～17:00	小学校教職員 ※小学校英語担当者会 合同実施
		224	中学校外国語(英語)科 公開授業・研究協議 New Crown! Let's talk 3「どこにありますか」 授業者 古江台中学校 教諭 香月 容子 指導助言 大阪府教育センター 主任指導主事 信田 清志	古江台中学校 1年1組教室	9月9日(月) 14:25～17:00	中学校教職員 ※中学校英語担当者会 合同実施
	授業づくり研修	243	コア・サイエンス・ティーチャーの実験教室 「すぐに使える 光・磁石のおもしろ教材づくり」 講師 吹田南小学校 教諭 柳本 周治	吹田南小学校 算数教室	9月6日(金) 15:45～17:00	教職員
		246	コア・サイエンス・ティーチャーの実験教室 「小学校から中学校まで体験学習を通して学ぶ『動物のからだ』」 講師 豊津第二小学校 教諭 横山 慶一郎	豊津第二小学校 4年3組	9月10日(火) 15:45～17:00	教職員
		238	スーパーティーチャーに学ぶ 算数の授業づくり研修 小学校3年算数科の講師師範授業及び講話 講師 関西大学初等部 教諭 尾崎 正彦	未定	10月28日(月) 14:45～17:00 (予定)	教職員
		239	スーパーティーチャーに学ぶ 道徳の授業づくり研修 講師 一宮市立浅井中学校 校長 山田 貞二	未定	10月16日(水) 14:45～17:00 (予定)	教職員
教特育別 研修 支援	特別支援 教育研修	205	「状況調査について」共通③ 講師 吹田市立教育センター 指導主事 加藤 弘靖	教育センター 研修室	10月4日(金) 16:00～17:00	特別支援教育コーディネーター
	事例研	213	事例検討研修「学習②」 事例提供 市内学校・園 指導助言 大阪医科大学LDセンター 西岡 有香	教育センター 視聴覚室	10月24日(木) 15:45～17:00	教職員 ※特別支援教育Co.研修 合同実施
情報 研修 教育	情報セキュリ ティ 研修	351	「情報セキュリティについて」 講師 株式会社内田洋行 インストラクター	千里山コミュニティセンター	9月10日(火) 15:45～17:00	教職員 ※情報教育推進委員会 合同実施 ※教育情報学校等担当者研修 合同実施
	公開授業	329	「ICT機器を活用した公開授業」 授業者 佐竹台小学校 教諭 松風 望 指導助言 大和大学 教授 松本 宗久	佐竹台小学校	10月25日(金) 14:35～17:00	教職員 ※情報教育推進委員会 合同実施
専門 研修	事務職員研修	254	平成29年4月の学校教育法改正にともなう「事務を司る」について 講師 京都産業大学 教授 西川 信廣	教育センター 視聴覚室	10月29日(火) 15:30～17:00	事務職員
	養護教諭研修	258	市内適応指導教室について(2) 講師 不登校児童・生徒支援員 笠井 一司 他	竹見台多目的施設 2F	10月23日(水) 15:00～17:00	養護教諭・養護助教諭

※各講座の詳細は、各学校に送付する実施要項をご覧ください。

委嘱研究学校 2学期以降の公開授業・研究協議等予定

学校名	実施日	開始時刻(17時終了)	研修名	講師予定者名
吹田南小学校	10月16日	14時30分	2年研究授業・協議	元茨木市立小学校 教諭 山本 卓雄
	11月22日	14時30分	5年研究授業・協議	元茨木市立小学校 教諭 山本 卓雄
	12月12日	14時30分	3年研究授業・協議	元茨木市立小学校 教諭 山本 卓雄
	1月30日	14時30分	1年研究授業・協議	元茨木市立小学校 教諭 山本 卓雄
	2月21日	14時30分	4年研究授業・協議	元茨木市立小学校 教諭 山本 卓雄
千里第一小学校	10月29日	14時	5年算数科研究授業・協議	太子町立磯長小学校 校長 加納 啓司
	11月29日	14時30分	3年算数科師範授業・協議	京都教育大学附属桃山小学校 教諭 樋口 万太郎
	2月18日	14時30分	1年算数科研究授業・協議	京都教育大学附属桃山小学校 教諭 樋口 万太郎
岸部第一小学校	12月3日	14時10分	中学年研究授業・協議	学習創造フォーラム NPO FILC 代表 三宅 貴久子
	1月24日	14時10分	低学年研究授業・協議	学習創造フォーラム NPO FILC 代表 三宅 貴久子
第三中学校	2学期	調整中	道徳科模擬授業	調整中
	2月18日	14時30分	1年道徳科研究授業・講演	東京学芸大学 教授 永田 繁雄
佐井寺中学校	1月27日	14時30分	体育科研究授業・協議	関西外国語大学 教授 中嶋 洋一
	2月7日	14時30分	数学科研究授業・協議	関西外国語大学 教授 中嶋 洋一

☆詳細については、各校に配付される委嘱研究学校からの案内にて御確認ください。

夏季研修報告

夏季研修は59講座実施 参加人数は延べ1523名

今年度も夏季休業中の研修では、酷暑の中、多くの参加がありました。それぞれの研修で、今後の指導につながる実践的な内容も多く、参加者の活発な意見交流を通して、指導に対する考えを深める機会になったことと思います。研修で学ばれたことを2学期以降の教育活動の中でも共有・交流していただき、さらに各校園の教育力の向上に役立てていただければと思います。

研修マナーの向上に御理解・御協力ありがとうございます。引き続き、よろしく申し上げます。

(延べ人数 7/22～8/23)

管理職研修	4講座 238名	教育課題別研修(10年研含)	12講座 233名
初任者研修	2講座 166名	教科領域別研修	5講座 89名
フレッシュ研修	10講座 29名	特別支援教育研修	5講座 465名
ステップアップ研修	3講座 209名	情報教育研修	16講座 80名
ヤングリーダー研修	2講座 14名	合計	59講座1523名

夏季研修 Pick Up!

授業づくり研修

「ダンス研修」 8/5 (月)

講師：日本ストリートダンススタジオ協会スタッフ

片山体育館を会場とし、ダンスのプロである日本ストリートダンススタジオ協会と共催で「ダンス研修」が行われました。1部と3部では各学年向けのダンス、2部では低学年、高学年向けの足が速くなるダンスを実際に踊ってプロのダンス指導を体験しました。見本のダンス撮影もあり、今後の指導へ活用できる充実した研修になりました。

〈受講者より〉

- 様々なダンスの方法を学ぶことができました。カウントでリズムをとることや難しい動きも言葉一つで分かりやすくなるとわかりました。
- ダンスの指導方法を通して、ダンスの楽しさを感じることができました。この経験を生かして子どもたちにダンスを指導していくとともに、楽しさを感じさせたいです。



初任者研修

「吹田市の人権教育について」 8/7 (水)

講師 教育政策室 主幹・指導主事 奥田 智子
「もちあじを尊重することから始める集団づくり」
講師 大阪大学未来共生イノベーター博士課程
プログラム 非常勤講師 沖本 和子

吹田の人権教育について、人権侵害事象が生じた時の対応についてなど、初任者や経験の浅い先生にとって必要な知識や対応方法について学びました。

考え方や捉え方の違いは、一人ひとりの持ち味であること、教師にとって当たり前のルールは、子供たちにとって本当に必要であるのか等、新たな視点を学びました。

〈受講者より〉

- 叱るのではなく、その子にどうなってほしいのか伝えるのもいいなと思いました。多様性を受け入れたいと思っていた自分の考えに背中を押してもらえた気がしてうれしかったです。
- 「十人十色」という言葉があるように、違いは悪いことではなく、違いがあるから面白いと思える集団にしていきたい。

「特別な支援が必要な児童・生徒の理解と支援 ～発達障がいへの理解と対応～」 8/7 (水)

講師：山田第三小学校 指導教諭 川向 博子
千里みらい夢学園
吹田市立竹見台中学校 教諭 山口 ひろみ

特別な支援が必要な児童・生徒の理解と支援をテーマに、初任者を含めた約100名が研修に参加しました。平等と公正の違いについて学んだり、困っている子供やその保護者への必要な支援を行うことの大切さについて学んだりしました。具体的な事例をもとに対応について考えました。

〈受講者より〉

- 自分の学級の子供たちのことを頭に浮かべながら講義を受けていましたが、それぞれの子供にあった支援をしていく必要があることを改めて感じました。
- 自分のあたりまえを押し付けるのではなく、個人によって適切な支援があることが理解できました。

その他にも様々な研修がありました

「子供たちの力を伸ばす学校掃除セミナー」 8/9 (金)

講師：ダスキンお掃除教育研究所スタッフ

岸部第一小学校を会場として、24名が受講しました。

学校での掃除時間は、およそ65時限分にあたるが、掃除の仕方や用具の使い方は、教師自身の経験則によることが多いこと等、課題意識が高まりました。実際に教室をお借りし、グループで掃除計画を立案・実践した後、「伸ばせる力」を考えると、主体性、対話する力、自己有用感など様々な可能性が発表されました。

二期が始まったら、掃除の時間も積極的に肯定的な言葉を子供たちに掛けていきたいという声が、参加者の振り返りとして多くあがっていました。



「スクールロイヤーから見た学校の抱える現状と課題」

7/26 (金)

講師：吹田市スクールロイヤー 宮下 幾久子

参加者が自校のいじめ防止基本方針について省察することから、研修が始まりました。学校が果たすべき安全配慮義務や学校事故について、講義いただいた後、いじめ対応についてグループで事例検討を行いました。

<受講者より>

- ・事例検討で、ほかの先生方と話せたことで、自分の思うことなどが正しかったと安心した部分がありよかった。
- ・法的な視点からの講話は、新しい視点が多く、とても学びが多かった。行いや発言に責任を持てる自分に成長したい。
- ・いじめの早期発見が未然防止にもつながるということを確認しました。チームとして動くという姿勢を自分の学校でも職員に伝えていきたいと思います。

支援学級合同研修

「新学習指導要領を見据えた特別支援教育」 8/20 (火)

講師：梅花女子大学 教授 伊丹 昌一

支援学級担任や特別支援コーディネーター、一般教職員そして介助員と、各校で特別支援教育を推進していく方々が約250名参加しました。

研修の中では、新学習指導要領で記載されている特別支援教育から、各学校で特別支援教育を推進していくために必要なことを紹介していただきました。

また、最後に伊丹先生が実践されていることも紹介され、2学期からまた「頑張ろう」と思えるような研修になりました。



「博物館の活用を取り入れた授業プラン作り」 8/9 (金)

講師：吹田市立博物館 学芸員 高橋 真希

前半は、高橋学芸員と館内を巡りながら、地名の由来や出土品等を解説いただき、身近な吹田の歴史に触れました。後半は、各教科等の小中一貫カリキュラムを参考に、博物館を学習資源として活用できる授業プランを作成、交流しました。高橋学芸員からは、「出前授業でもどんどん活用してほしい。」とお話いただきました。

<受講者より>

- ・今まで知らなかった吹田の歴史を学ぶことができ、とても貴重な経験になりました。大人の私たちにさえ、とても学びが多かったので、子供たちにとっても、学習に博物館を取り入れることは深い学びにつながると思います。
- ・地域の博物館で、今とは違う吹田の姿や人々について、子供たちに考えてもらいたいと思いました。

「情報教育研修：教育課題別研修」 7/29 (月)

Scratch を活用したプログラミング教育 (基本編)

講師 株式会社サンソフト 大本 智恵

教育センター情報科学室にて、内田洋行のスタッフを講師として、「Scratchを活用したプログラミング教育」が行われました。来年度からプログラミング教育が始まるにあたって、ソフトとして学校に導入しているScratchを使用してどのような指導が行えるのかを、実際の操作を通してイメージを膨らませることができた研修になりました。

<受講者より>

- ・指導要領に載っていた正多角形の例のやり方を知ることができてよかった。子供たちに教えるときに、どこまでどう伝えるか考えていきたい。
- ・中学校の授業でプログラミングをするのに役にたいと思います。小学校の内容はどのようなことをやるのか知ることができてよかったです。発展させて活用できればと思いました。

事例検討研修

8/22 (木)

「ひらがな文字習得に課題の見られた、児童5名の学習支援について～「読み書きトレーニング」の指導内容の検討～」

事例提示：市内小学校教員

指導助言：大阪医科大学LDセンター 西岡 有香

今回は、市内小学校で実施されている「読み書きトレーニング」について事例報告していただき、事例について全体で検討しました。取組の具体的な内容から、実施時期などについて様々な意見があり、通級担当者からも、通級と学校との連携についての話がありました。

また、西岡先生より、ICT教材の普及や新学習指導要領を踏まえた「読み書き」の構造や活用できる教材についてお話しいただきました。

